



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月15日

上場会社名 株式会社アドヴァングループ 上場取引所 東
コード番号 7463 URL <https://www.advan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末次 廣明
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山形 さとみ TEL 03-3475-0394
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	20,302	△0.5	3,939	△16.2	16,194	213.9	10,299	206.1
2023年3月期	20,399	16.1	4,701	22.8	5,159	△10.3	3,364	△11.9

(注) 包括利益 2024年3月期 10,625百万円 (223.4%) 2023年3月期 3,285百万円 (△12.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	278.86	—	22.4	22.6	19.4
2023年3月期	88.97	—	7.9	8.5	23.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	78,698	49,584	63.0	1,380.24
2023年3月期	64,531	42,355	65.6	1,135.76

(参考) 自己資本 2024年3月期 49,584百万円 2023年3月期 42,355百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,967	△5,582	△492	7,939
2023年3月期	3,753	△8,091	3,756	8,981

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	1,873	56.2	4.4
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	1,460	14.3	2.9
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00	—	—	—

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳（普通配当20円、記念配当10円）

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,600	0.9	2,000	△15.1	—	—	—	—	—
通期	22,000	8.4	4,100	4.1	—	—	—	—	—

※1 為替レートについては2024年3月29日の公示レートを基準として想定しております。

※2 なお、営業外に計上する為替差損益並びに為替評価損益は為替相場に影響を受けるため、見通しが難しいことから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	48,312,692株	2023年3月期	53,812,692株
2024年3月期	12,387,887株	2023年3月期	16,519,946株
2024年3月期	36,933,667株	2023年3月期	37,817,200株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	19,516	2.0	2,571	△11.7	14,631	370.8	8,973	317.9
2023年3月期	19,134	13.9	2,913	31.9	3,108	△26.3	2,147	△22.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	242.95	—
2023年3月期	56.77	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	58,495	37,009	63.3	1,030.21
2023年3月期	44,125	31,111	70.5	834.25

(参考) 自己資本 2024年3月期 37,009百万円 2023年3月期 31,111百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
(開示の省略)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、ウクライナや中東情勢の悪化、円安の進行など、従来からの資源・エネルギーの供給不安に国際物流のコストアップが加わり、物価の上昇傾向が続く状態となりました。加えて日本の金利上昇気配の高まりもあり、我が国経済を取り巻く環境は不透明感が強まる一年となりました。

このようななか、当社グループは、福岡（7階建）、沖縄（8階建）の新事務所・ショールームの建設や新規事業への継続的な投資の他、業務効率化のためのシステム投資や、人への投資、広告宣伝への投資などを積極的に行うことで、業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は20,302百万円（前期比0.5%減、同97百万円減）営業利益は資源高や円安の進行による仕入コストの上昇が影響したことなどにより3,939百万円（同16.2%減、同762百万円減）となりました。その一方で、当社は、輸入仕入決済に為替予約を使用しており、その決済差益を計上しました。この決済差益は、営業外収益の為替差益2,043百万円に含まれております。

また、当連結会計年度は急激な円安進行の影響を受けて、期末の洗い替え処理による為替予約評価益として9,543百万円（前年同期は1,270百万円の評価損）を計上した結果、経常利益は16,194百万円（同213.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は10,299百万円（同206.1%増）となりました。

また、今年度は1,536百万円（1,367,941株）の自己株式の取得、及び550万株の自己株式の消却を行いました。今後につきましても、積極的な設備投資や人材投資を行い、更なる会社の発展に邁進してまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は78,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,166百万円の増加となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,502百万円の増加となりました。また、固定資産は前連結会計年度末に比べ10,663百万円の増加となりました。

(負債)

当連結会計年度末における負債は29,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,937百万円の増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は49,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,229百万円の増加となりました。利益剰余金は6,668百万円の増加、資本剰余金は2,691百万円の減少、自己株式は2,925百万円の減少となり、また、その他の包括利益が326百万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は63.0%となりました。

(単位：百万円)	前期	当期	増減
総資産	64,531	78,698	14,166
負債	22,175	29,113	6,937
純資産	42,355	49,584	7,229
自己資本比率 (%)	65.6	63.0	△2.6

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,042百万円減少の7,939百万円となりました。なお、当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(単位：百万円)	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,753	4,967	1,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,091	△5,582	△2,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,756	△492	△4,248
現金及び現金同等物期末残高	8,981	7,939	△1,042

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,967百万円（前年同期は3,753百万円の収入）の収入となりました。その主な内訳は、税金等調整前当期純利益16,175百万円、減価償却費744百万円、また、支出の主な要因は法人税等の支払い1,758百万円、為替予約評価益9,543百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5,582百万円（前年同期は8,091百万円の支出）の支出となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が2,686百万円、投資有価証券の取得による支出が235百万円、その他に定期預金の預け入れによる支出が13,266百万円、定期預金の払戻による収入が10,676百万円あります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは492百万円（前年同期は3,756百万円の収入）の支出となりました。その主な内訳は、長期借入れによる収入が6,000百万円あり、支出では長期借入金の返済が3,095百万円、自己株式の取得が1,541百万円、配当金の支払いが1,855百万円あります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	72.4	71.8	74.1	65.6	63.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	80.2	72.5	62.2	55.8	53.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.0	2.5	3.6	5.0	4.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	246.1	187.1	122.4	75.8	51.1

(注) 1. 各指標の算出方法は次のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業活動キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標はいずれも連結ベースの財務指数により計算しております。

3. 株式時価総額は以下の算定方法に基づいております。

株式時価総額は、期末株価終値×期末発行株式（自己株式控除後）

4. 営業活動キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

5. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、国内経済は緩やかな回復傾向にあり、賃金の上昇による消費意欲の向上に期待する一方で、為替相場の変動や、海外情勢の影響による物価上昇の懸念が高まるなど、引き続き不透明な状況が続くことが予想されます。

このようななか、当社グループは経営基盤の強化を図るとともに、無駄をなくし合理的な経営を推し進め、業績向上に努めてまいります。

なお、次期の見通しにつきましては、売上高は22,000百万円(前期比8.4%増)、営業利益は4,100百万円(前期比4.1%増)、としております。なお、営業外に計上する為替評価損益は為替相場に大きな影響を受ける状況にあり、見通しが難しいことから、経常利益、親会社に帰属する当期純利益の業績予想は記載しておりません。

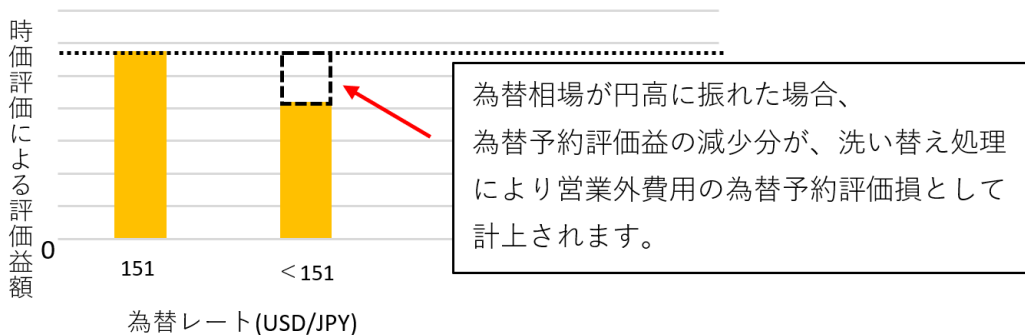
(注)業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※為替予約評価損益について

当社では、仕入における為替変動リスクがあるため、為替予約を行っております。為替レートが変動することによって為替予約に伴う為替予約評価損益が発生し、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益が変動します。

※イメージ

時価評価による為替予約評価損益額



(5) 利益配分に関する基本方針及び当期、次期の配当

当社グループは、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、株主の皆様への利益還元を重要項目の一つと位置付けており、業績や財務状況などを勘案しながら、積極的に株主還元を努め、PBRの向上を意識した経営に努めております。

当期につきましては、期中に1,536百万円(1,637,941株)の自己株式の取得、及び550万株の自己株式の消却を実施しました。配当につきましては、普通配当40円(中間20円、期末20円)を予定しております。

また、次期につきましては、普通配当40円(中間20円、期末20円)を年間配当予想としておりますが、これを上回る株主還元の実現が可能となるよう、業績の拡大に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、国内でのIFRSの採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,252,876	18,021,728
受取手形、売掛金及び契約資産	6,506,790	6,270,362
商品	2,838,696	3,035,735
原材料	13,869	16,463
為替予約	511,210	2,036,251
その他	220,796	469,375
貸倒引当金	△974	△3,834
流動資産合計	26,343,265	29,846,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,644,198	17,779,145
減価償却累計額	△7,445,059	△7,941,366
建物及び構築物 (純額)	7,199,139	9,837,778
機械装置及び運搬具	1,801,936	1,806,912
減価償却累計額	△1,462,812	△1,464,998
機械装置及び運搬具 (純額)	339,123	341,914
工具、器具及び備品	765,644	851,480
減価償却累計額	△522,146	△591,785
工具、器具及び備品 (純額)	243,498	259,695
土地	23,963,808	23,957,431
建設仮勘定	2,553,522	1,837,568
有形固定資産合計	34,299,092	36,234,388
無形固定資産		
借地権	1,315	1,315
ソフトウェア	20,342	43,180
電話加入権	10,666	10,666
その他	35,506	35,335
無形固定資産合計	67,831	90,497
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665,754	2,372,600
敷金及び保証金	9,336	4,740
会員権	200,282	245,778
為替予約	1,795,959	9,814,380
繰延税金資産	147,672	81,065
その他	2,422	8,847
投資その他の資産合計	3,821,428	12,527,412
固定資産合計	38,188,352	48,852,298
資産合計	64,531,618	78,698,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,668,887	1,265,897
1年内返済予定の長期借入金	2,954,940	3,404,124
未払費用	197,910	232,451
未払法人税等	934,752	5,288,795
未払消費税等	144,187	72,569
賞与引当金	93,000	93,000
その他	149,907	257,890
流動負債合計	6,143,586	10,614,728
固定負債		
長期借入金	15,969,004	18,423,936
繰延税金負債	4,887	—
役員退職慰労引当金	33,941	33,941
その他	24,531	40,947
固定負債合計	16,032,364	18,498,825
負債合計	22,175,951	29,113,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,500,000	12,500,000
資本剰余金	4,922,559	2,230,972
利益剰余金	37,905,644	44,574,365
自己株式	△13,009,940	△10,084,566
株主資本合計	42,318,263	49,220,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,403	364,054
その他の包括利益累計額合計	37,403	364,054
純資産合計	42,355,667	49,584,827
負債純資産合計	64,531,618	78,698,380

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	20,399,618	20,302,922
売上原価	11,827,665	12,150,910
売上総利益	8,571,952	8,152,012
販売費及び一般管理費	3,870,321	4,212,437
営業利益	4,701,631	3,939,575
営業外収益		
受取利息	28,167	304,672
受取配当金	23,769	63,254
受取賃貸料	28,905	30,333
受取運賃収入	279,082	274,024
売電収入	120,521	105,374
為替差益	1,319,989	2,043,131
為替予約評価益	—	9,543,461
その他	24,722	43,777
営業外収益合計	1,825,158	12,408,030
営業外費用		
支払利息	49,494	97,010
自己株式取得費用	7,250	5,076
為替予約評価損	1,270,483	—
売電原価	40,056	38,737
その他	160	11,900
営業外費用合計	1,367,443	152,725
経常利益	5,159,346	16,194,880
特別利益		
固定資産売却益	219	5,334
投資有価証券売却益	57,513	—
特別利益合計	57,733	5,334
特別損失		
固定資産処分損	92,765	24,301
投資有価証券評価損	2,229	—
投資有価証券売却損	6,658	—
特別損失合計	101,654	24,301
税金等調整前当期純利益	5,115,425	16,175,913
法人税、住民税及び事業税	1,793,871	5,959,465
法人税等調整額	△43,017	△82,770
法人税等合計	1,750,854	5,876,695
当期純利益	3,364,570	10,299,218
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,364,570	10,299,218

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,364,570	10,299,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78,892	326,651
繰延ヘッジ損益	—	—
その他の包括利益合計	△78,892	326,651
包括利益	3,285,678	10,625,869
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,285,678	10,625,869
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,500,000	4,922,559	36,092,183	△10,972,054	42,542,687
当期変動額					
剰余金の配当			△1,551,109		△1,551,109
親会社株主に帰属する当期純利益			3,364,570		3,364,570
自己株式の消却					
利益剰余金から資本剰余金への振替					
自己株式の取得				△2,037,885	△2,037,885
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,813,461	△2,037,885	△224,423
当期末残高	12,500,000	4,922,559	37,905,644	△13,009,940	42,318,263

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	116,295	—	116,295	42,658,983
当期変動額				
剰余金の配当				△1,551,109
親会社株主に帰属する当期純利益				3,364,570
自己株式の消却				
利益剰余金から資本剰余金への振替				
自己株式の取得				△2,037,885
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△78,892	—	△78,892	△78,892
当期変動額合計	△78,892	—	△78,892	△303,316
当期末残高	37,403	—	37,403	42,355,667

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,500,000	4,922,559	37,905,644	△13,009,940	42,318,263
当期変動額					
剰余金の配当			△1,860,458		△1,860,458
親会社株主に帰属する当期純利益			10,299,218		10,299,218
自己株式の消却		△4,461,625		4,461,625	
利益剰余金から資本剰余金への振替		1,770,038	△1,770,038		
自己株式の取得				△1,536,250	△1,536,250
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△2,691,587	6,668,722	2,925,375	6,902,510
当期末残高	12,500,000	2,230,972	44,574,365	△10,084,566	49,220,772

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	37,403	—	37,403	42,355,667
当期変動額				
剰余金の配当				△1,860,458
親会社株主に帰属する当期純利益				10,299,218
自己株式の消却				
利益剰余金から資本剰余金への振替				
自己株式の取得				△1,536,250
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	326,651	—	326,651	326,651
当期変動額合計	326,651	—	326,651	7,229,160
当期末残高	364,054	—	364,054	49,584,827

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,115,425	16,175,913
減価償却費	710,284	744,624
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	331	2,859
受取利息及び受取配当金	△51,936	△367,926
支払利息	49,494	97,010
自己株式取得費用	7,250	5,076
為替差損益(△は益)	71,489	△286,940
為替予約評価損益(△は益)	1,270,483	△9,543,461
固定資産売却損益(△は益)	△219	△5,334
固定資産処分損益(△は益)	69,314	22,051
投資有価証券売却損益(△は益)	△50,854	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2,229	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,968,996	236,427
棚卸資産の増減額(△は増加)	76,092	△199,632
仕入債務の増減額(△は減少)	839,174	△356,706
その他	△205,967	△69,244
小計	5,929,595	6,454,717
利息及び配当金の受取額	51,936	367,926
利息の支払額	△49,494	△97,243
法人税等の支払額	△2,178,623	△1,758,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,753,414	4,967,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,570,971	△13,266,547
定期預金の払戻による収入	4,664,693	10,676,662
有形固定資産の取得による支出	△3,846,025	△2,686,711
有形固定資産の売却による収入	5,511	16,862
無形固定資産の取得による支出	△5,126	△40,158
投資有価証券の取得による支出	△615,906	△235,704
投資有価証券の売却による収入	281,369	—
その他	△5,292	△47,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,091,746	△5,582,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	9,805,000	6,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,458,077	△3,095,884
自己株式の取得による支出	△2,045,135	△1,541,327
配当金の支払額	△1,545,016	△1,855,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,756,770	△492,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	65,150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△581,514	△1,042,823
現金及び現金同等物の期首残高	9,563,388	8,981,873
現金及び現金同等物の期末残高	8,981,873	7,939,050

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に営業統括を置き、建材関連事業を中心に事業活動を展開しております。セグメント区分は、「建材関連事業」、「不動産賃貸事業」、「その他」を報告セグメントとしております。「建材関連事業」は石材・タイル・住宅関連商品などの建材の輸入販売及び工事を行っております。「不動産賃貸事業」は不動産の賃貸管理事業を行っております。「その他」は物流管理業からなります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表の作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、組織変更に伴い、従来「その他」に区分していたホームセンターへの卸売り販売事業は、「建材関連事業」に変更しております。なお、これらのセグメントの変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

I 前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	建材関連事業	不動産賃貸事業	その他	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	20,306,775	92,842	—	20,399,618	—	20,399,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,080,632	1,499,893	3,580,526	△3,580,526	—
計	20,306,775	2,173,475	1,499,893	23,980,144	△3,580,526	20,399,618
セグメント利益	4,952,565	1,230,161	420,970	6,603,696	△1,902,066	4,701,631
セグメント資産	15,502,894	29,925,588	612,040	46,040,523	18,491,114	64,531,618
その他の項目						
減価償却費	177,163	438,280	13,816	629,260	81,024	710,284
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	345,625	3,466,709	3,444	3,815,779	19,793	3,835,573

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△263,626千円、各セグメントに配分していない全社費用△1,638,439千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント資産の調整額は、各セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は、主にセグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券であります。
- 3 その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額は、主に本社管理部門設備の増加額であります。
- 4 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表計上額
	建材関連事業	不動産賃貸事業	その他	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	20,181,753	121,169	—	20,302,922	—	20,302,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,084,341	1,426,727	3,511,068	△3,511,068	—
計	20,181,753	2,205,510	1,426,727	23,813,990	△3,511,068	20,302,922
セグメント利益	4,308,101	1,227,406	366,255	5,901,763	△1,962,188	3,939,575
セグメント資産	24,845,808	31,697,380	811,732	57,354,921	21,343,459	78,698,380
その他の項目						
減価償却費	182,636	497,291	11,101	691,029	53,595	744,624
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	372,766	2,265,792	—	2,638,559	48,151	2,686,711

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△132,060千円、各セグメントに配分していない全社費用△1,830,127千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント資産の調整額は、各セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は、主にセグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券であります。
- その他の項目の減価償却費の調整額は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産等の増加額の調整額は、主に本社管理部門設備の増加額であります。
- セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称	売上高
清水建設株式会社	2,122,624

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,135.76円	1,380.24円

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益	88.97円	278.86円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,364,570	10,299,218
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,364,570	10,299,218
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,817	36,933

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、資産除去債務、税効果会計、退職給付に関する注記事項は、決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。